

産業廃棄物処理施設等における火災予防について

北九州市消防局 予防部 予防課

北九州市の火災概要

令和 2年	
火災種別	件数
建物火災	147
(住宅火災)	(87)
林野火災	10
車両火災	16
船舶火災	2
その他火災	73
総火災(合計)	248

令和 3年	
火災種別	件数
建物火災	120
(住宅火災)	(73)
林野火災	2
車両火災	30
船舶火災	2
その他火災	67
総火災(合計)	221

※令和3年のデータは速報値

主な火災原因

令和2年		
順位	原因	件数
1	たばこ	37
2	放火(含疑)	32
3	こんろ	31
4	たき火・火入れ	20
5	配線器具	14

令和3年		
順位	原因	件数
1	たばこ	31
2	放火(含疑)	29
3	たき火・火入れ	16
3	電気機器	16
5	電灯・電話等の配線	15

※令和3年のデータは速報値

「たばこ」が火災原因のトップ

産廃処理施設等における火災の発生状況（過去5年間）

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	合 計
件数	3	3	4	4	4	18

行政区ごとの内訳

区	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
件数	3	1	0	14	0	0	0	18

産廃処理施設等の火災による影響

- ① 火災に伴う事業所の損害
 - ・焼損に伴う直接的損害
 - ・焼跡の整理費、休業損失などの間接的損害
- ② 火災時に発生する黒煙
 - ・苦情や不安
 - ・付近住民への健康被害
- ③ 社会的影響が大きい(報道)
 - ・事業所への不信感

産廃処理施設等の火災原因 (過去5年間)

原因	火花	電気関係	摩擦	自然発火	電池	その他・不明	合計
件数	8	2	1	1	1	5	18

着火物(最初に燃え始めたもの)

- ・プラスチック屑
- ・電気配線被覆
- ・断熱材
- ・紙類
- ・木屑
- ・布類
- ・金属スクラップ
- ・油類

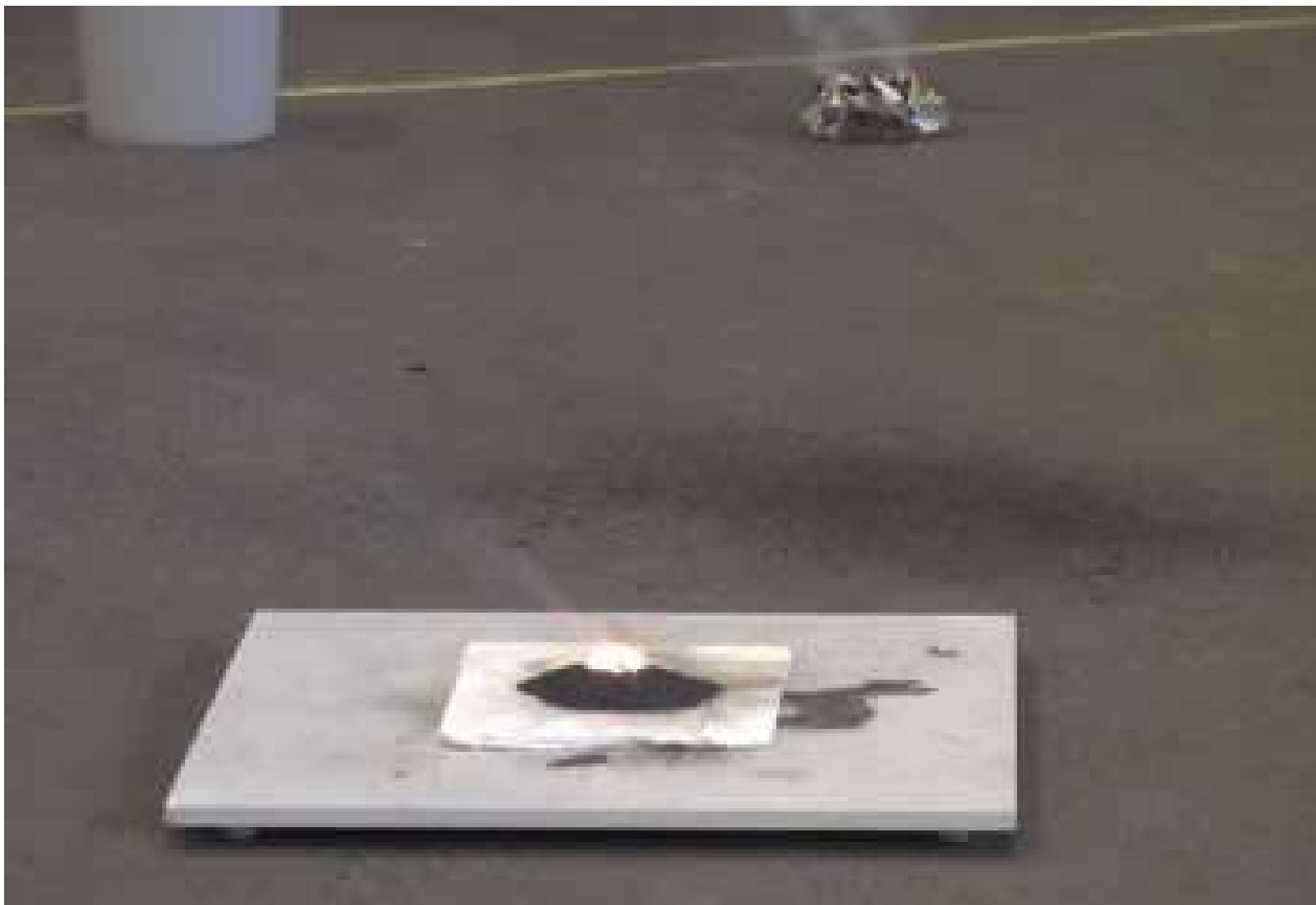
火花による火災(動画)



自然発火による火災



燃焼している金属粉への注水危険(動画)





鉛蓄電池（カーバッテリー）



※ バッテリーの+・-端子にスプレー缶が接触し、出火！

スプレー缶の爆発(動画)

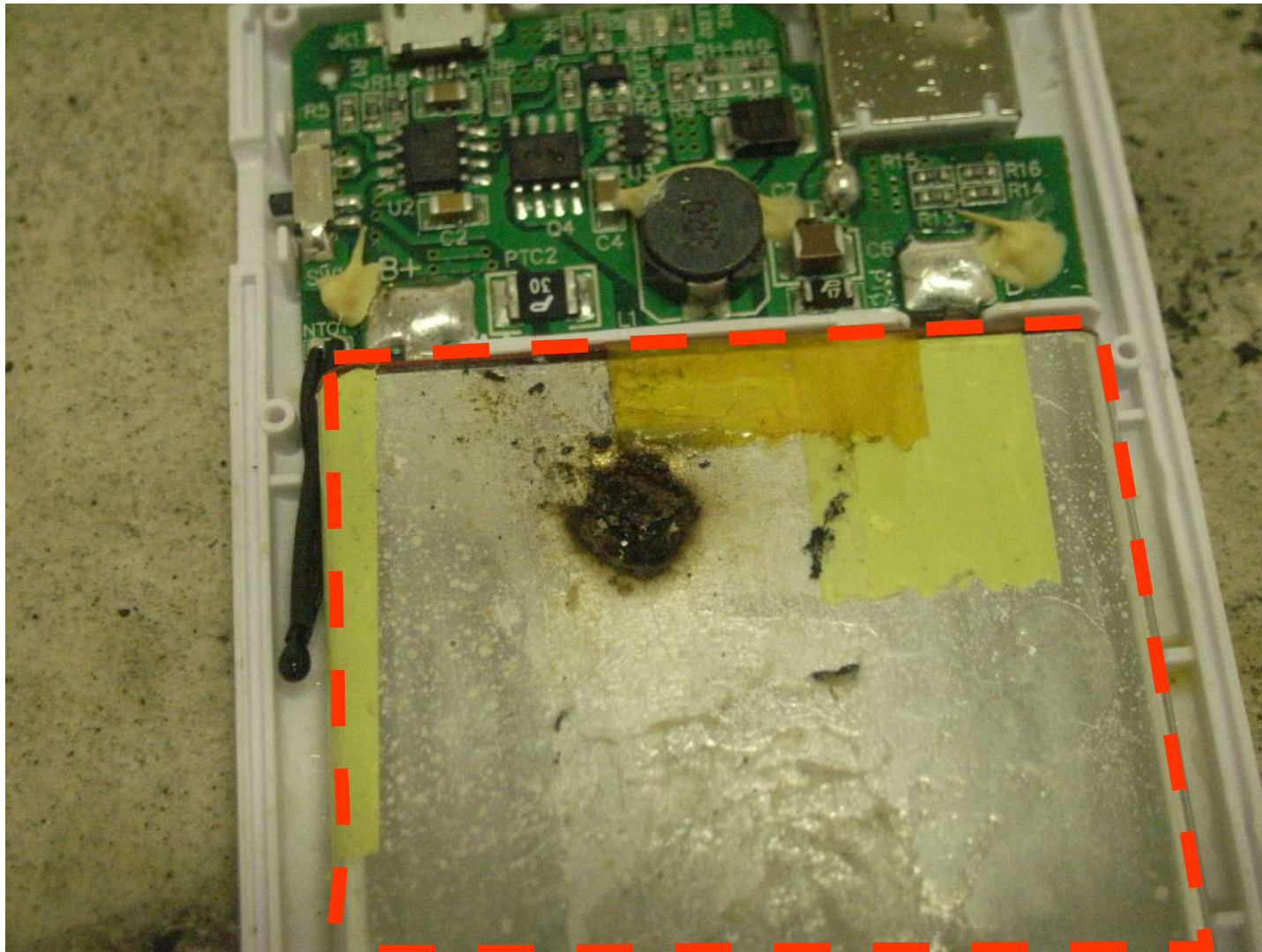


バッテリーの両端子に金属が接触すると！



金属片が赤熱し、 500°C 以上に！

リチウムイオン電池



リチウムイオン電池の出火(動画)



火災予防対策

- ① 火気の手扱いに注意する。
- ② 火源となる物品との混在に気をつける。
- ③ 消火器等を設置し、速やかに初期消火体制がとれるようにしておく。
- ④ 一カ所に大量に集積せず、分散して保管・管理する。
- ⑤ 目視や熱監視システムによる監視を毎日行う。
- ⑥ 保管状況により、蓄熱する場合があるので注意する。

最後にお願ひです

「まあいいか」とか「この前も大丈夫だったから、たぶん大丈夫だろう」という考えで、火災予防対策をおろそかにしてしまったことで発生してしまった火災が多くあります。

今後、確実な火災予防対策を継続して実施するよう願ひします。